

第14回東海パソコン研修会を開催

～東海ソフトボール協会 記録委員会～

平成28年5月7日（土）愛知県安城市のデンソー安城荘にて、標記研修会が開催された。この研修会は、本年3月12日～13日に大阪府吹田市にて開催された公益財団法人日本ソフトボール協会記録委員会主催のコンピュータ研修会に参加したメンバーが中心となり伝達をするもので、東海地区の各県代表者ら約30名が一堂に集まり、約6時間の研修を受けた。



開講に先立ち、地元・愛知県西三河の長井和彦会長は、詩人の相田みつをさんの言葉を引用して挨拶。「『花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ』記録は目立たないが、とても重要な役目を果たしてくれている。ネット社会・パソコン社会となった今、タイムリーに情報提供できるか否か。その中枢であり、最後の砦でもある“根”の部分を担当している皆様に感謝するとともに、各県での伝達と更なる人材の確保・普及をよろしくお願ひしたい。」と話し、受講生を激励した。

静岡県からは、県記録委員会委員の清水さん（浜北支部）とPC普及担当委員の戸田さん（掛川支部）が受講生として、日ソ記録委員で前・東海記録委員長・県記録委員長でもある芦澤さん（長泉支部）と東海コンピュータ指導者の八木さん（焼津支部）が講師として参加した。



この研修会の主な内容は下記の通り。

1. 全名国大会の処理

(1) 記録3号の作成 (2) 複数のPCで入力したデータの集約・スタートリストの作成・データの入力と報告書作成

2. 全国大会の処理 (補足)

(1) 審判・記録員エクセルファイルの作成と読み込み (2) PCによる記録4号等の入力点検

